

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる. ぷら倶楽部 12月

2014.12.1 ニュースレター第 53 号

体験会レポート!

『赤ちゃんのニギニギ』10月31日(金)実施



お子さんの様子を見ながらの作業大変ですが楽しそうですね。



講師の山田さんより
お子さんをあやしながら一生懸命作っていて、出来上がった時の表情が皆さん満足げでとても良かったです。



愛情いっぱいの手作りおもちゃ完成!

体験会レポート!

『わくわくアロマ』11月1日(土)実施



気持ちの良いアロマトリートメント



じっくり時間をかけてもらいました

体験会レポート!

『お花のカラー切り絵』11月11日(火)実施



始めにカッターの持ち方・刃の動かし方・切り方などの詳しい説明がありました。



色つき和紙を入れて作品が完成すると皆さんとても喜んでいました。「またやりたい」との声もありました。



初めての方たちばかりでしたが丁寧にご指導いただきました。

※次ページに続きます→

体験会レポート!

『和紙ちぎり絵年賀状』11月16日(日)実施



講師の小野寺先生にお手伝いいただきながら、納得の仕上がりを目指します!

毎回大好評で定員を超える申し込みがあります。

来年の干支の「羊」も可愛らしく出来上がりました!

体験会レポート!

『クリスマスの貼り絵』11月21日(金)実施



色紙を何枚も貼り重ねて、クリスマスらしい綺麗な色合いの、ポイントセチアや雪を表現します。

講師の陶久先生にアドバイスを貰いながら、切った色紙をレイアウトします!

力作を手元に記念撮影。「自分でもっと作品を作ってみる」という人も。

11月のギャラリー展示の様子

◎戸塚刺しゅう愛好会作品展 (10月28日~11月9日)



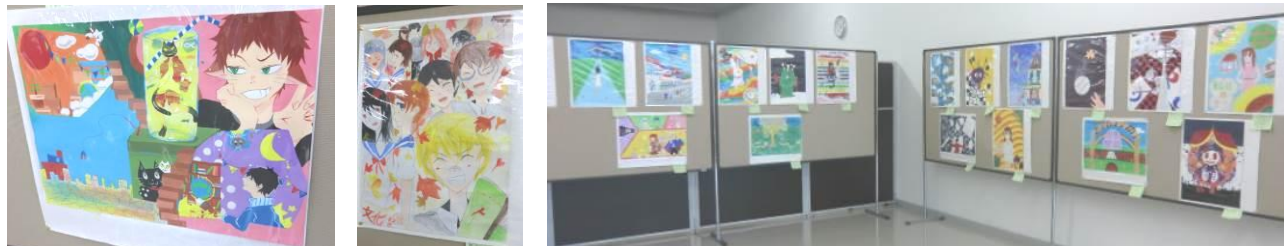
戸塚刺しゅう愛好会会員の方より

船迫公民館で月2回作品作りに励んでいます。自分で作ってみたい物を先生のご指導をいただきながら出来上がりを楽しんでいます。

※次ページに続きます→

11月のギャラリー展示の様子

◎船岡中学校美術部作品展 (11月11日～11月16日)



船岡中学校美術部部長 畑山優里音さんより
 いつもは学校だけで展示していた絵を
 展示していただけたのは、とても良い経
 験になったと思います。
 この経験をいかし、美術部のみんなで
 自分の世界を絵に表現できるよう頑張り
 ます。

◎庄子博油彩画展 (11月18日～11月30日)



優しい色合いと真っ白なフレームが特徴の庄子さんの作品



毎年秋に作品発表の場として
 活用させていただいています。
 “線による、色による、動きに
 による、多属性による空間の表現”
 を探究しています。
 今後について、アートによるま
 ちづくりを考えています。

庄子博アトリエ

◎陶芸作品展 (11月18日～11月30日)



9月から全3回の工程を経て完成した参加者の皆さんの力作です！



ナイス Smile(笑顔)賞

各分野で一生懸命活動されている方、頑張っている方などにお話を聞き、その笑顔を広めていくナイス Smile(笑顔)賞。今回は、「あ！まつりだ実行委員会」の代表を務める吉田寿暉さんをご紹介します。

よしだ としての
吉田 寿暉さん(17A区)



——「あ！まつりだ実行委員会」ではどんな活動を？

年明け1月4日に、槻木を中心としたコースを行くウォーキングイベントを企画しています。そして来年の夏に阿武隈川を会場にした船のイベントを企画中です。

——なぜ来年の夏に「阿武隈川で船」なのですか？

平成7年7月7日に開通した槻木大橋ですが、同時にそれまでの交通手段だった渡し船が廃止されました。来年がちょうど、廃船後20周年のタイミングなのです。

——橋以上に、船着き場へ注目したのですね。

今も河岸には船着き場が残り、河川敷には廃船時に建立された「小山の渡し」記念碑があります。橋と違ってこれらは忘れられようとしていますが、放置するにはもったいない。20周年と、タイミングもばっちりですし、これを記念した催しをしたいのです。また、そもそも槻木地区を一層盛り上げたいとの思いがあり、阿武隈川河川敷にめぼしい催し物が無いことを歯がゆく思っていました。

現在は、かつて渡し船の船頭をした方や、廃船当時の記念イベント企画者、船着き場跡へ船を持ってこられる船主、渡し船の模型を作ってくれる大工など、様々な人に協力をお願いしながら実現に向け活動しています。ぜひ一緒にイベントの実現に向けて活動する仲間を募りたいです。

——お仲間ほどのくらいいらっしゃるのですか？

まだ活動を始めたばかりで、現在も大募集の最中です。現在5人ほどで手分けしながら、イベント実現のため模索中ですが、もっと仲間を増やしたいですね。「槻木に楽しいイベントを」、このテーマに賛同してくれる方がいたら、ぜひ連絡してほしいです。

——楽しいイベントの実現を期待しています！

あ！まつりだ実行委員会と、阿武隈川河川敷でのイベント開催に興味のある方は、どうぞこちらへご連絡ください。

「ゆるぷら倶楽部を見た」と一言いただけるとスムーズです。電話：0224-56-5736(吉田)



企画を書きためたノート

しばた100選 伝えたい・残したい・自慢したい、しばたの宝もの 大募集！

大切に守り続けたい、結いや講など人のつながり、季節や時間帯に見られる美しい風景、楽しい場所、先人から受け継がれてきた伝統文化や知恵、地域ならではの食など、隠れた町の宝ものを募集中です。子どもから大人までできるだけ多くの皆さんに応募していただけるよう、友人や家族、地域の中でぜひ話題にしてみてください。

募集期限：平成27年1月15日(木)

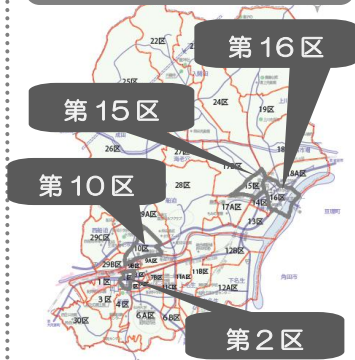
※全戸配布した応募用紙、または柴田町役場・ゆる。ぷら等の公共施設に置いている用紙・投函箱を使って応募できます。

地域づくり支援員レポート

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

【長寿を祝い、高齢者に感謝を！ ～敬老会レポート～】

今回紹介した行政区



団塊の世代が高齢者層となる時代に入り、柴田町においても高齢者が毎年増加しています。こうした中、各行政区が毎年趣向を凝らした敬老会を行っており、今回は4つの行政区の敬老会をレポートしました。どこの行政区でも高齢者を敬う心が見受けられ、心温まる思いがしました。

1. 第15区『祝 敬老祝賀会』: 槻木生涯学習センター 9月13日(土)

参加者は40名（最高齢者：98歳）。平間区長の挨拶では、通勤に便利な第15区では、震災以降に若い世代が増加しており、高齢者の皆さんの経験を生かして、若い人達のために力になってあげて下さいとのお話がありました。また、町長の祝辞では、長生きの秘訣として「①思いやり ②お互い様 ③お裾分け」の「お」で始まる三つの言葉が贈られました。

出し物としては、「さんさ時雨」の祝い唄、槻木在住の音楽家による「野ばら」「浜辺の唄」（ピアノ伴奏付）の披露、子どもたちの合唱音楽クラブ『ぼこあぼこ』が「カントリーロード」「高原列車は行く」を合唱、代表の男の子からの「体に気をつけてお暮らしてください、私たちも勉強をがんばります」の言葉に、会場は和やかな雰囲気となり、参加者も踊りやカラオケの披露で楽しみました。

会場内では多くのボランティアの方々が活躍しており（トイレ介助・車イス介助や、列ごとにボランティアスタッフを配置）、ボランティアの力があって、このような催しができる事を再認識しました。



2. 第16区 『賀壽第17回祝賀会』 : 槻木生涯学習センター 9月14日(日)

参加者は85名（最高齢者：95歳）。槻木小学校に今年入学した一年生9名が『おじいさん おばあさん 敬老会 おめでとうございます これからも 元気で 長生きしてください』とお祝いの言葉が贈られ、感極まって目頭を押さえるおばあちゃん達の姿がありました。「槻木小学校校歌」「Let It Go～ありのまままで～」を会場の全員で合唱しました。出し物としては、詩吟の披露、アトラクションは尺八演奏（荒城の月）、手品、婦人防火クラブのダンスの披露などがありました。



加藤区長によれば「40名を超える人数で実行委員会を立ち上げ準備を進めた。例年出席者が多い理由は、高齢者となった方々が若い時代から盛んに交流をしていたからでは」とのことでした。

会場には多くのスタッフが配置され、招待者へのきめ細かな接待がなされていました。この光景は地区を挙げて高齢者を敬う気持ちの表れだと思いました。

次のページへ続く

3. 第10区 『祝 第十区敬老会』 : 第10区集会所 9月15日(月)

参加者は39名(最高齢者:90歳)。高橋区長のユーモアあふれる開会挨拶で会場が和む中、今年から新たに敬老会の仲間入りをした村上さんの乾杯のご発声で開宴となりました。「ハッピー10区」リーダー笠松さんが進行役を務め、身体も使った頭の体操、「北国の春」「故郷」の合唱、ダンス、カラオケなどを楽しみました。最後に全員で「松の木小唄」を合唱し閉会となりました。

他行政区では見受けられない光景として、出席できなかった招待者の家族が集会所を訪れ記念品を受け取っていました。高橋区長によれば、役員負担を軽減するための工夫ということでした。また、10区では、来賓はなく、出し物内容も最初から決めていないのが特徴で、堅苦しさもなく、参加者は皆さんリラックスして楽しんでいるようでした。高橋区長からは「毎年70人以上の招待者で会場が一杯になる。今年は連休最後の日でしかも好天となった事から行楽に行った方も多かったのではないかとのお話がありました。



4. 第2区 『祝 二区敬老会』 : サンシャイン青葉2階 9月20日(土)

参加者は21名(最高齢者:88歳)。「さんさ時雨」の合唱と踊りで幕を開けた第2区の敬老会は、豪華なお膳を前に乾杯を行い、記念撮影、カラオケの披露の後、2区敬老会の恒例である「星影のワルツ」



の替え歌「しあわせのワルツ」の合唱を参加者皆で行いました。さらに今年は「ふるさと」「旅愁」を追加で合唱しました。参加者の代表からは、「忙しい中、敬老会を開催して頂き感謝の気持ちで一杯です。戦前、戦中、戦後を生き抜いてきた私達です。これからも趣味を持ち、家族と共に楽しく暮らしていきます」との謝辞が述べられました。

9名の役員で開催準備から全て取り仕切り、敬老会横断幕、アトラクションなど工夫された内容は、小さな行政区ながらも心のこもった“おもてなし”が感じられました。なんとと言っても船岡駅前、中央商店街を抱えた柴田町の中心市街地という華やかさも伝わってきた敬老会でした。

地域づくり支援員 本郷 良治 大内 進

今年も残すところあと1ヶ月となりました。そろそろ大掃除や年賀状の準備で慌ただしくなるころでしょうか。その前のクリスマスは子供達にとって楽しみな一大イベントですね。

寒さも厳しくなっていく12月、健康で新年を迎えられるよう、体調に気を付けて良い年末をお過ごしください。今年も一年間ありがとうございました。
ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<12月と年末年始の休館日:1日、8日、15日、
22日、27日~年明け1月5日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

